

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
ステージシステム 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	恒枝賢治			実務 経験	有	職種	レコーディングエンジニア・ミュージシャン・ギタリスト				
授業概要											
前期で学習した内容を拡張して音響や楽器に関わる知識を更に深める。音響用語との解説を中心に演劇用語、舞台設備、コンサートなどの音響技術全般、各種楽器の仕組みと音色の把握ができるようになることが主な目的となる。近年は音響以外にもアーティストの担当として、ライブにおいてもアドバイザーとしての仕事を務める事もあり、幅広い知識を獲得しておくことも重要である。											
到達目標											
音響のエンジニアとして様々なイベントへの関わりを持てる知識を得ることが目標である。近年ではCDの売り上げ低下に反してライブ・イベントの動員数は増加傾向にあり、プロフェッショナルとしてイベントに積極的に関わっていく事も重要である。例えレコーディングエンジニアのみの職業であっても、イベント時のアーティストの音やパフォーマンスに対して知識を得ることにより、より深い音作りへの貢献ができるようになる。											
授業方法											
講義形式にて行う。教科書資料の使用、もしくは適時プリントを配布。、自分で完成させるワークタイプの物も配布。前回までの各項目を理解した上での次項目へ繋がるため、復習も随時行いながら進行する。復習や仮説においては各自の発言の機会もあるので、積極的な参加が望ましい。映像、音響資料も多用する。											
成績評価方法											
期末試験と課題内容によって評価する。											
履修上の注意											
音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
音響映像設備マニュアル（2019年改訂版）											
回数	授業計画										
第1回	放送されないの歌と時代										
第2回	無くなった仕事とこれからの仕事										
第3回	シンセサイザーの登場とコンピュータ										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科	
ステージシステム 2	
第 4 回	ビルボード誌とオリコン誌
第 5 回	音楽売り上げランキング1
第 6 回	音楽売り上げランキング2
第 7 回	ライブ動員のランキング1
第 8 回	ライブ動員のランキング2
第 9 回	PAの仕事
第 1 0 回	PA機器1
第 1 1 回	PA機器2
第 1 2 回	規模別のPA
第 1 3 回	PA関連用語
第 1 4 回	スポーツ・イベント
第 1 5 回	後期まとめ